

行政提案型協働事業実施計画書

行政課題	和光市運動場及び会議室の施設稼働率について、平日の時間帯が特に低い現状である。そこで、市内で活動する市民団体から、日頃の活動で蓄積したノウハウを活かしてもらい、平日午後枠や夏休み期間中の日中に運動場でのレクリエーション・スポーツ教室・講座等の開催による施設利用を行ってもらう。そうすることで、参加者に施設の利用方法等を理解してもらい新たな施設利用者としての稼働率の向上と市民へのスポーツ振興のための新たな事業展開が期待されている。
協働事業名	一市民一スポーツを目指して～和光市運動場有効利用計画～
課題の現状認識	1 課題に対する現状認識 利用団体がいないにも関わらず、人数要件が10名以上の団体登録を行わないと施設を利用できない現状が平日の施設利用を阻んでいる状況であると考えています。 2 課題選択の理由 自ら運動を行うかたわら、和光市体育協会として創立60周年を目前に活動を続けている組織であり、地域のスポーツ推進の一翼を担ってきた組織です。和光市のスポーツに対する変遷や地域の特徴をよく知る団体として自負していることから、和光市のスポーツの推進に向け、かねてから切迫感を持ちながら考え、試行錯誤を重ねながら活動しており、想いを形にする時が来たと感じています。
事業目的	1 解決する地域課題の内容 我が国では、学校と企業を中心にスポーツが発展してきました。このため地域のスポーツクラブを中心にスポーツ活動が行われているヨーロッパ諸国などと異なり、就学前の児童のスポーツに触れ合う機会が少ないことや、学校を卒業後はスポーツに親しむ機会が極端に減少する傾向にあります。 市民の誰もが生涯にわたりスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現するためには「いつでも」「だれでも」「いつまでも」各自の興味・関心・目的に応じてスポーツに親しめる拠点作りが必要です。このことは、学校週5日制時代における子ども達のスポーツ活動の受け皿ともなり、さらには地域の連帯意識の高揚や世代間交流など、地域社会の活性化や再生にも寄与するものです。 2 課題解決に対する市民ニーズ（課題として提起する根拠等） 現在、運動場では一般開放を行っておらず、団体登録を行った団体のみが使用できる状況です。運動を行うためには既存団体等に所属し、団体構成員の集える時間帯に限定され、個人で運動を行えるのは限られた空間のみであり、使用されていない時間帯の施設ニーズは非常に高いものがあります。 今回、事業採択されることにより、日頃の活動で蓄積したノウハウを活かし、平日午後枠や夏休み期間中の日中に運動場でのレクリエーション・スポーツ教室・講座等の開催による施設利用を行うことで、参加者に施設の利用方法等を理解してもらい新たな施設利用者としての稼働率の向上と市民への

	スポーツ振興のための新たな事業展開が期待されます。
問題解決の手法	1 問題解決の方策 スポーツに親しむ機会の充実には、市民どうしの交流と地域づくりを視野に入れた「参加型のスポーツイベント」の開催や、スポーツ活動のきっかけづくりとして重要な役割を果たす「スポーツ教室」の開催とその充実を図ります。また、全市的なスポーツ・レクリエーションイベントを市民主導型の運営を基本として開催し、親しみやすく気軽に参加できる恒例行事としてその振興を図ります。 開催に際しては和光市体育協会として市内保育園・幼稚園・小・中・高等学校及び高齢者団体などと連携することにより、スポーツ団体などの組織力の向上を図るとともに、運営経費の一部について受益者負担の原則を導入して参加意識の高揚と活性化を図ります。 2 問題解決の独自性及び先駆性 個人解放を行っている施設はあっても、個々人での利用となっており統率が取れておらず、好き好きに利用してる状況の施設が数多く見受けられます。今回の事業では、教室開催かつ指導者及び人員を配置しての個人解放に近い形態であり、目的を持って取り組む事により、施設利用者の裾野拡大と、稼働率の向上、スポーツ振興を目的とした新たな事業展開が期待されます。
役割分担	1 提案団体が果たす役割 市民の誰もが生涯にわたりスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現するためのスポーツに親しめる拠点及びスポーツ活動の受け皿かつ、地域の連帯意識の高揚や世代間交流など、地域社会の活性化や再生のためのスポーツ教室・講座の開催運営。 2 市に期待する役割 ・『和光市ホームページ』、『広報わこう』などによる啓発活動 ・体育団体などとの連絡調整 ・管理運営や新しい事業に関する事業協力
協働の必要性	1 協働の必要性 市民がスポーツ・レクリエーション活動を通して親睦と融和を深め合うとともに、健康で豊かな魅力あるまちづくりに寄与することを目的に開催します。 2 協働による相乗効果 青少年期に豊富なスポーツ経験を持つことは、その後の各ライフステージにおけるスポーツ習慣の形成に大きく影響を及ぼすものです。またこの時期は心身の発育・発達とともに親しい友人や仲間を積極的に求め、種々の活動を共に行う中でスポーツの楽しさを経験する時期でもあります。学校の内外を通じて興味・関心などに合った様々なスポーツを体験し、見て楽しむことやスポーツの意義・特性などに関する理解をいっそう深めることでスポーツ習慣を形成していきます。 小中学校における体育科の目標は、心と体を一体としてとらえることを重

	視し、豊かなスポーツライフの実現や自らの健康を適切に管理し改善していくための資質や能力を培うことであり、運動に親しむ資質や能力の育成、健康の保持増進及び体力の向上が相互に密接に関連しています。学習指導要領改訂の要点を踏まえて指導にあたり、今後の小中学校での体育・スポーツ活動の充実に努めてまいります。
個別事業の内容 (事業ごとに記入)	1 事業名 かけっこ教室 (全4回) (1) 目的: スポーツの基礎である走り方の教室を開催することにより体を動かすことの楽しさを知ってもらい運動へのきっかけづくりを目的とする (2) 成果: 今まで運動場を使用する機会のない未就学児を対象とすることで、参加者及び保護者を対象として施設利用者の裾野拡大 (3) 内容: かけっこ教室 (4) 実施日程: 7~8月 (5) 参加予定者: 未就学児、小学生 (6) 実施場所: 運動場 (7) 予算額: 80,000円 (講師謝礼10,000円×4回、施設利用料3,080円×2コマ×4回、消耗品等) 2 事業名 ソフトテニス教室 (全6回) (1) 目的: 中学で部活に入り初めて体験することが多いテニスに早い時期から触れ合う機会を設けることで、競技の裾野の拡大をはかる (2) 成果: スポーツ少年団等の既存の団体がなく小中学生時に触れ合う機会の少ない競技を行うことによりスポーツへのきっかけを作る (3) 内容: テニス教室 (4) 実施日程: 7~9月 (5) 参加予定者: 小学生、中学生 (6) 実施場所: 運動場 (7) 予算額: 150,000円 (講師謝礼10,000円×6回、施設利用料1,430円×2コート×2コマ×6回、賃借料 (ラケット) 消耗品 (ボール) 等) 3 事業名 レクリエーション教室 (全2回) (1) 目的: 運動場を使用してレクリエーションを行い体を動かすことの楽しさを知ってもらい運動へのきっかけづくりを目的とする (2) 成果: 今まで競技スポーツを行っておらず運動場を使用する機会のない市民を対象とすることによる、参加者を対象とした施設利用者裾野拡大 (3) 内容: チームに分け水風船、水鉄砲等を使用しグラウンドを走り回る (4) 実施日程: 8月 (5) 参加予定者: 市民 (6) 実施場所: 運動場 (7) 予算額: 50,000円 (講師謝礼10,000円×2回、施設利用料3,080円×2コマ×2回、消耗品 (水風船、水鉄砲) 等) 4 事業名 普通救命講習・防災訓練 (1回) (1) 目的: 避難所ともなっている運動場を使用し普通救命講習・防災訓練を行う (2) 成果: 運動場の施設目的の一つである災害発生時の避難所機能を知ってもらうと共に、参加者の防災啓発をはかる (3) 内容: AED使用法、煙体験、起震車体験、水消火器 (4) 実施日程: 防災週間周辺 (5) 参加予定者: 市民 (6) 実施場所: 運動場・会議室 (7) 予算額: 30,000円 (施設利用料3,380円×2コマ、消耗品 (スモーク溶液) 等) 5 事業名 グランドゴルフ教室・大会 (全3回) (1) 目的: 高齢者を対象としてグランドゴルフ教室・大会を開催し、定年後に地域とのつながりが少ない方に多く参加してもらうことにより仲間作りのきっかけを提供する (2) 成果: 運動場利用者の裾野拡大及び地域の仲間作り促進 (3) 内容: グランドゴルフ教室・大会 (4) 実施日程: 10~11月 (5) 参加予定者: 高齢者 (6) 実施場所: 運動場 (7) 予算額: 90,000

	円（講師謝礼10,000円×3回、施設利用料3,080円×2コマ×3回、賃借料（ゴルフ用具）消耗品（ボール）等） 6 事業名 キャッチボール教室（全2回） (1) 目的:球技スポーツの基礎であるキャッチボール教室開催による競技スポーツ加入者の拡大 (2) 成果:既存競技組織への加入推進及び保護者等の新規利用者の裾野拡大 (3) 内容:キャッチボール教室 (4) 実施日程:12,1月 (5) 参加予定者:未就学児、小学生 (6) 実施場所:運動場 (7) 予算額:50,000円（講師謝礼10,000円×2回、施設利用料3,080円×2コマ×2回、消耗品（ボール）等） 7 事業名 サッカーフィジカル教室（全2回） (1) 目的:サッカーフィジカル教室開催による競技スポーツ加入者の拡大 (2) 成果:既存競技組織への加入推進及び保護者等の新規利用者の裾野拡大 (3) 内容:サッカーフィジカル教室 (4) 実施日程:12,1月 (5) 参加予定者:未就学児、小・中学生 (6) 実施場所:運動場 (7) 予算額:50,000円（講師謝礼10,000円×2回、施設利用料3,080円×2コマ×2回、消耗品（ラダー）等） 8 事業名 健康体操教室（全4回） (1) 目的:競技スポーツを行うのが難しいと自己判断している高齢者を対象とし、健康寿命の延長を行える健康体操教室を開催する (2) 成果:膝や腰を痛めており、体を動かすことから疎遠となっている方を再び運動を行える体作りを行う (3) 内容:健康体操教室 (4) 実施日程1～2月 (5) 参加予定者:高齢者 (6) 実施場所:会議室AB (7) 予算額:80,000円（講師謝礼10,000円×4回、施設利用料300円×2コマ×4回、消耗品（テーピング）等）
事業の実施体制	1 人的体制 和光市体育協会役員13名、監事・書記4名、理事・副理事38名、事務局員1名を骨格とし、市民団体、行政、の協働により事業推進 2 提案する協働事業の特長（知識、経験、実績等） (1) 安全 個人の体力や運動能力を把握し、個人に適した指導をするよう心がけます。過度なトレーニングは行わず、身体の発育・発達を考慮したプログラムを提供し、将来を見据えた身体づくりを安全に行います。 (2) こころ育て（EQ） 「生きる力」を養いながら、「マナー」「仲間意識・協調性」などの挨拶や礼儀、用具を大切にすること、友人に対する気遣いや考える力を育てます。 (3) 身体能力の向上 運動の基本動作を学び「調整力・バランス感覚・柔軟性」などの身体能力を総合的に身につけます。体力や運動能力の発達を促す多様な運動を経験することで、運動能力をバランスよく養成していきます。 (4) 楽しみ 物事を達成する喜びを得て「できる」を味わうことや、記録を向上させることによって運動を楽しみ、生涯にわたって運動に親しむ心を育成します。
年間スケジュール	第1期（4～6月）年間計画の周知 第2期（7～9月）かけっこ教室、ソフトテニス教室、レクリエーション教室、

	普通救命講習・防災訓練の実施 第3期（10～12月）グランドゴルフ教室・大会、キャッチボール教室、サッカーフィジカル教室の実施 第4期（1～3月）キャッチボール教室、サッカーフィジカル教室、健康体操教室の実施
協働の成果	1 団体 これまでの経験や実績を活かし、組織的スポーツ団体の充実強化と未組織スポーツ愛好者の発掘と組織化を目指します 2 行政 一市民一スポーツの推進 3 地域 スポーツに触れ合う機会を得ることにより、地域の連帯意識の高揚や世代間交流など、地域社会の活性化や再生にも寄与する
成果指標	・各教室参加者数 ・教室参加者アンケートによる満足度調査 ・参加者及び既存利用者へのアンケート、ヒアリングによる課題抽出、分析及び改善提案
事業と関連する団体の 特長及び活動実績	1 提案する協働事業に関連する知識、技術等（団体の特長） （1）組織的スポーツ団体の充実強化 和光市体育協会は19の競技団体で構成され、またスポーツ少年団も22単位団を数え、それぞれ活発な活動を行っております。しかし会員・団員の減少や高齢化などにより組織力が低下し、事業の維持や継続が次第に困難になりつつあるところも見受けられることから、県の関連団体や管内支部組織との連携を強化するとともに、単位協会・団体間の交流や総合型地域スポーツクラブの設立等を通して組織の充実を図る必要があります。 今後も、それぞれの団体が所期の目的を果たすとともに、スポーツ指導者の養成や生涯スポーツとしての競技スポーツ人口拡大などの事業を展開することにより、ますます本市のスポーツ振興の中心的な役割を担うことが期待されることから、様々な側面からスポーツ団体の充実強化を支援します。 （2）未組織スポーツ愛好者の発掘と組織化 近年の体育・スポーツの大衆化に伴い、本市にも体育協会などの組織には所属しない青少年や女性、高齢者などのスポーツ愛好者が急増しています。これら未組織のスポーツ愛好者が積極的かつ継続的に活動できるよう、施設利用の調整や指導者派遣、さらにはクラブの紹介や自主的なクラブ結成への働きかけを行います。 2 提案する協働事業に関連する活動実績 市民を対象とした数多くのスポーツ事業を開催しており、多くの市民へスポーツを体験する機会を提供しております。また、加盟団体による大会等運営ノウハウを有しております。（昨年度実績：9団体）
他団体とのネットワーク（協力、共催等）	朝霞地区体育協会連合会、和光いきいきクラブ、コナミスポーツ＆ライフ、朝霞地区一部事務組合和光消防署 他
事業の実施年度以降の スケジュール	実施年度以降も、参加者アンケートなどを行い内容を拡充し継続していく予定である。周知が図られることで、参加者の増加を目指し、「一市民一スポーツ」を目指す。

※ A4サイズ5ページ以内で、できるだけわかりやすく、具体的に記載してください。